

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和2年12月16日

和泉市長 へ

団体名 いずみこどもAID

代表者名 関戸真紀

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場 『CoCo de おしゃべり』
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	67,230 円 (うち、対象経費 67,230 円)
支援金 交付申請額	44,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい) ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書(様式第2号)
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書(様式第3号)
- (4) 収支予算書(様式第4号)
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イズミコドモエイド		
団体名	いずみこどもAID		
団体の目的	こどもが安心できる環境づくり		
市内事務所の所在地			
	電話		FAX
フリガナ	セキド マキ		
代表者氏名	関戸 真紀		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※		電話
	フリガナ ヤマト サチコ		FAX
	山本 祥子		
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設立年月	平成 18 年 4 月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 () 2 回発行) ・ 無	会員数	45 人
メールアドレス			
ホームページ	http://izumi-kodomo-aid.org/ ブログ http://ameblo.jp/cocoizumi2014/		
主な事業内容	・チャイルドライン事業 ・こどもの居場所事業		
主な活動の実績	平成 12 年 チャイルドラインいずみ運営委員会発足 平成 18 年 チャイルドラインいずみ AID 設立 市と協働でチャイルドラインいずみの運営 平成 26 年 いずみこども AID に名称変更 平成 26 年 9 月～ こどもの居場所「CoCo」の運営		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)
	平成 30 年度	和泉市あなたが選ぶ 市民活動支援事業支援金	200,095 円
	令和 元年度		52,896 円
令和 2 年度	30,000 円		

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第3号（第7条・第15条関係）

事業計画書

1 事業名	学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場 『CoCo de おしゃべり』
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等</p> <p>おとなも子どもも生きづらい昨今、社会的弱者である子どもには、より一層そのしんどさがのしかかっている。周りに気を使いながら疲れて生活している子どもたちからのサインの一つが不登校という現象であり、そんなサインを出すぎりぎりの状態やそんなサインすら出せず学校に通い続ける子どもたちも大勢いると考える。</p> <p>そんな子どもたちを持つ保護者も戸惑い・不安を抱くが、情報収集できる場・不安を吐き出す場があまりないのが現状である。</p>	
<p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果</p> <p>子どもは自分の気持ちを受けとめてもらうことで安心し、ありのままの自分を受け入れることができるようになる。保護者が交流の場に参加することで、お互いのしんどさに共感したり、様々な情報を仕入れることで、気持ちが楽になり、こどもとの向き合い方も変化していくことが考えられる。結果、子どもたちの自尊感情・自己肯定感を高めることにつながり、子ども自身が自分の気持ちを大切にしながら、課題解決に向けて自分の力で進んでいくことが期待される。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。</p> <p>【保護者同士の交流が持てる場の提供】 『CoCo de おしゃべり』（月に2回） 学校へいきづらいこどもの保護者が、自分の気持ちを話せる場を設ける。 不定期に講師を招き、保護者の気付きにつなげる 『CoCo de おしゃべり拡大版』講師や不登校経験者などを招き講義形式、定員を増やした回の実施（年に1～2回） 【その他】スタッフを養成する講座、スタッフの継続研修の実施</p>	
②実施期間（日時）	2021年4月～2022年3月 第1・第3金曜日（祝日除く）10：00～12：00
③実施場所	和泉市内公共施設
④主な対象者	学校へいきづらいこどもの保護者
⑤参加予定者数	1回5名
⑥告知方法	ブログ・インスタグラム チラシ配布・広報いずみ掲載・泉北コミュニティ掲載

5 事業スケジュール													
次期（月）	<table border="1"> <tr> <td>4月（2日・16日）</td> <td>5月（7日・21日）</td> </tr> <tr> <td>6月（4日・18日）</td> <td>7月（2日・16日）</td> </tr> <tr> <td>8月（6日・20日）</td> <td>9月（3日・17日）</td> </tr> <tr> <td>10月（1日・15日）</td> <td>11月（5日・19日）</td> </tr> <tr> <td>12月（3日・17日）</td> <td>1月（7日・21日）</td> </tr> <tr> <td>2月（4日・18日）</td> <td>3月（4日・18日）</td> </tr> </table>	4月（2日・16日）	5月（7日・21日）	6月（4日・18日）	7月（2日・16日）	8月（6日・20日）	9月（3日・17日）	10月（1日・15日）	11月（5日・19日）	12月（3日・17日）	1月（7日・21日）	2月（4日・18日）	3月（4日・18日）
4月（2日・16日）	5月（7日・21日）												
6月（4日・18日）	7月（2日・16日）												
8月（6日・20日）	9月（3日・17日）												
10月（1日・15日）	11月（5日・19日）												
12月（3日・17日）	1月（7日・21日）												
2月（4日・18日）	3月（4日・18日）												
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）													
① 公益性	<p>不登校または学校に行きづらい子どもを持つ保護者は、周りに気持ちを話せる場がなかなかなく、孤立しがちである。保護者が周りにつながり、情報共有や気持ちを受けとめてもらうことで、保護者自身が少し楽になり、その結果、子どもの気持ちの受けとめ方や声かけにも変化が現われ、子どもにも良い影響が及ぶと考える。</p>												
② 継続性	<p>不登校は、一時的な場合もあれば、長期に渡る場合もある。不定期ではあるが何年も参加している保護者もおられ、「行きつ戻りつ」する子どもの様子を聴きながら、保護者の喜びや不安、しんどさに共感し、寄り添っている。</p> <p>本事業を行うことで、保護者の気持ちが少し楽になっていけば、子どもの気持ちの受けとめ方や声かけにも変化が現われ、子どもにも良い影響が及ぶと考える。</p> <p>不登校の子どもは昨年度全国で18万人を超え、7年連続で増加している。しかし、保護者同士が交流できる場はまだまだ少ない状況であるため、本事業を継続し周知していくことで、こどものことで悩みを1人で抱えている保護者にも浸透していくと考えている。</p>												
③ 実行性	<p>スタッフ2名体制で当日の運営をしている。</p> <p>近くで開催されるならちよつと行ってみようかと思う人もいるのではないかと考え、市内公共施設の4カ所を順に巡るように開催している。また、公共施設は駐車場の心配もなく参加しやすいと思われる。講師の方との協力体制もできており、保護者が抱く不安や悩みを少しでも軽減できるよう努めている。</p>												
④ 協働性	<p>不登校または学校にいきづらい子どもを持つ保護者同士が交流し、情報交換する場となっている。不定期で、子ども支援に関わる方を講師に迎え、専門的助言や気づきを得る機会を持っている。年に1～2回は参加人数を増やした講演会的な拡大版を開催している。また、事業周知につきましては市内小中学校にも協力していただいている。</p>												
⑤ 公開性	<p>チラシを作成し、市内公共施設に配架。和泉市教育センターより市内小中学校へチラシを送付している。また、広報いずみや泉北コミュニティにも掲載して周知をはかる。</p> <p>メルマガやブログを通して、活動の様子が伝わるよう努めている。</p>												
⑥ 発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	<p>不登校の子どもは昨年度全国で18万人を超え、7年連続で増加している。しかし、保護者同士が交流できる場はまだまだ少ない状況であるため、本事業を継続していくことで、保護者にとって安心できる場を提供していきたいと考えている。</p> <p>匿名性が保たれた場だからこそ、話しやすいこともあるのではないかと考える。</p>												

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称： 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場
『CoCo de おしゃべり』

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	44,000 円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	0 円	
自主財源	23,230 円	
合計	67,230 円	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	20,000 円	講師謝礼(5,000 円×4 回)
旅費	9,600 円	駐車場代 100 円×2 人×12 回（有料駐車場の施設）・ガソリン代 10 キロ×15 円×2 人×24 回
消耗品費	3,000 円	用紙代・インク代・衛生用品
食料費	600 円	講師お茶代 150 円×4 回分
使用料	34,030 円	シティプラザ(AM) 1760 円×6=10,560 円 北部リージョン和室(AM) 1200 円×6= 7,200 円 南部リージョン和室(AM) 1150 円×6= 6,900 円 人文センター(AM) 1250 円×5= 6,250 円 人文センター(PM・拡大版) 1 回 3,120 円
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	67,230 円	
対象経費	67,230 円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。